

新年のご挨拶



東京都製紙原料協同組合
理事長 近藤 勝

新年明けましておめでとうございます。

皆様方にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。又、日頃より当組合への多大なるご支援・ご協力に対し深く感謝申し上げます。

昨年は世界同時不況という大変厳しい環境の中、大きくチェンジを掲げたオバマ政権の誕生から始まり、日本も大きく「チェンジ」という潮流に乗ってまいりました。高度経済成長を続ける中国を横目に先進諸国は経済対策に追われ、政治の仕組みをいやおうなしに見直さざるをえなくなった一年でもありました。所謂55年体制の初代首相が自民党鳩山一郎氏、そして現在、政権交代後の初代首相はそのご子孫の民主党鳩山由紀夫氏となり「チェンジ」は確実に進んでいるように思われます。

経済は底入れをしたものの、上昇機運とまでは至っておりませんが、経済対策として補助金のあ

るハイブリッド車や太陽光パネル・エコ電化製品などは、その生産が間に合わないようです。その一方、厳しい販売競争に巻き込まれ下落を続ける商品も多く、そして新たな動きとして無駄な競争排除から価格を維持するため、業界協調による商品が大きなシェアを占め始めております。業界協調はお互いの信頼関係の上に成り立っており、正にオバマ大統領が核廃絶のために世界各国の信頼関係を重要視するのと同じ動きであると思います。

「チェンジ」は確実に進んでおります。我々古紙業界でも大手同士が提携したり、グループ化したりする動き、これも間違いなく協調による安定化という方向に進んでいるのだと思います。

鉄鋼、紙などの素材輸出は円高にも関わらず増加し始めております。東南アジアの景気が少しずつ回復しているようですが、国内は高齢化と人口減少、デジタル化、ペーパーレス化によって紙の消費は落ち込みを続けております。

一例としてファクスまで、直接紙に出力せず、そのデータをパソコン等に取り込む方式まで出現し、結果として紙を使わない気運は一層加速しております。出版、印刷、製本など我々を取り巻くあらゆる業界が厳しさを増す中、古紙業界も回収量の減少に対応してゆかねばなりません。今以

謹 賀 新 年

上、更に回収率を上げる為には、紙ゴミからの資源化しかなく、家庭系、事業系そしてコストと品質の問題が現在、古紙センターの品質規格専門委員会や古紙回収推進実行委員会で議論されております。

また、古紙の掘り起こしと同時に重要な国内需給バランスを保っている輸出がございます。全国17組合で構成されている全原連ではこれらの品質等、輸出に関わる諸問題を重要課題として取り上げ、Jブランド制の導入など今後の業界の方向を常に討議してまいります。

このような中、東京協組の今年の活動は、年初の古紙価格急落時に緊急状況報告書を作成し仕入先に配布、メーカー側には行過ぎた価格下げを行わないよう嘆願書を送付するなど適切な対応が取れたと思います。年に3回行われる家庭紙メーカーとの会合、製本工組、印刷工組、東資協との会合も重ね、情報交換を密にしながら組合員には広報誌を通して内容を伝達いたしました。

また、コンプライアンス遵守の為の東京都廃棄物再生事業者登録の説明会、全原連認定のリサイクルアドバイザーの講習会を開催、秋には直納部の海外研修会他、青年部の研修活動も活発に行われております。

昨年、製紙メーカーは紙の消費減少という逆風の中、数量を追わず協調路線をとり、収益を確保しました。我々業界もいよいよ本当の意味で協調していかなければ生き残っていけない時代が来ていると思います。

本年も引き続き組合員の為の組合運営がどうあるべきか、社会の変化が我々にどう影響してくるのか、共に考えて行きたいと思っております。引き続き皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



謹 賀 新 年

新年のご挨拶



東京都製紙原料協同組合
副理事長 **清水 弘允**

新年明けましておめでとうございます。

毎年の事ですが昨年もいろいろとありました。昨年を表す漢字が「新」になった事でも分かりますが、昨年の10大ニュースを見ていますと、米国ではオバマ大統領が誕生し、日本では鳩山新政権が発足し、裁判員裁判がスタートしました。それに新型インフルエンザの流行など、確かに「新」がつくものが多くありました。新しいものが出て世の中が変化する事は、社会の活力に繋がるものとして基本的に歓迎すべきと思います。

しかし問題はその新しい変化に対し個人として、会社としてどう対応するかだと思います。チェンジをチャンスに出来るかどうかは、こちらの問題となります。

昨年末、業界誌を読んでいたら業界のリーダーといえる2人の方の意見が出ていました。両者とも古紙業界の市場は小さくなって行く事で認識

は一致していました。ところが同じ現状認識から全く異なった対応を述べられています。一方は仕入競争が激しくなり、共倒れになってはいけなから皆が「車間距離」をしっかり取るべきとの意見。他方は仕入競争が不可避であるから同じ考えの者同士でグループ化して生き残りを図るしかない、との意見でした。会社の置かれている状況により異なる意見になるのは当然かも知れませんが、古紙業界のほとんどの仕入先、販売先も同様に市場の縮小に直面している中、自分の会社がどの様な対応を取るか明確な判断が求められる年になるのではないのでしょうか。

どの様な判断をするにせよ、出来るだけ多くの情報を得る必要があります。

情報を得る場として組合は貴重な機会を提供します。具体的には各支部単位での交流を筆頭に、直納部、集荷部での交流、合同新年会・総会での交流、仕入先、売上先との意見・情報交換などがあります。また青年部の活動を通じての次世代の育成、資格制度の導入による古紙業界の地位向上・コンプライアンスの徹底を図っています。組合広報誌も仕事に限らず、組合員のいろいろな情報を提供しています。組合とのいろいろな接点を通じて情報を手に入れ自分の会社の運営に役立ててく

謹 賀 新 年

ださい。

今年も組合が、組合員全員の切磋琢磨の場として機能する事を切に祈ってやみません。

新年のご挨拶



東京都製紙原料協同組合
副理事長 **松井 隆宏**

あけましておめでとうございます。

ここ数年業界にとって様々な変動がありましたが昨年一年を振り返ってみますと特に変化のあった年だと思います。

一昨年末のリーマンブラザーズから始まった不況が続き業界は古紙発生減、単価の下落という厳しい状況が続きました。このような時代事業経営においては大幅な経費の削減等の企業努力を行わざるを得ません。この状況の中、組合と致しましては業界を取り巻く状況、先の見通し等、更に研究し組合員の皆様に情報提供できればと思います。

情報が無いと思わぬところで損をする、又商売

の縮小につながることも有ろうかと思えます。

組合広報、支部会、その他の組合事業の中から情報を吸収し事業の生き残り、発展に繋げたいものです。

本年が良い年でありますよう祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



東京返本加工協同組合
理事長 **工藤 裕樹**

新年あけましておめでとうございます。

2010年の新春を迎え、東京都製紙原料協同組合並びに東京返本加工協同組合の組合員皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

東京返本加工協同組合は、お陰様で第45期の事業年度に入っておりますが、世界的な経済不況の影響を正面から受け、事業所を蓮田の地に移して、初めて業績を悪化させる結果となりましたが、期首より新組合員4社を迎え23社となりました。

謹 賀 新 年

組合発足時からのスローガンである『組合員の相互扶助』の精神を柱に切磋琢磨させて頂いた1年でありました。

又、近年増加傾向にあります禁帯品付雑誌の処理につきまして、組合員の皆様のご理解の中、仕組みを大幅に変更させて頂きましたことに感謝申し上げます。

取扱量は期首より前年を大幅にマイナスしておりましたが、秋口より販売会社様のご努力もあり前年水準まで回復をしております、しかし返本業界全体では前年割れであります。

今年は、昨年来のデフレスパイラルの中、閉塞感でのスタートとなっており、出版業界におきましても遂に年間売上が2兆円を切ることが予測されておりますが、2010年は国をあげての国民読書年が閣議決定しております、活字文化の見直しと発展を進める年です。

東京返本加工協同組合は役職員が一致団結致し、組合員並びに販売会社様、そしてお取引の各社様との連携を強固なものとし、この1年を奮闘させて頂きます。何卒、皆さまのご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

海外メーカー工場視察研修 中国（海南島・広州）

山手支部 鈴木 一徳

2009年11月20日（金）～11月23日（月）

出席者 17名

1. 海南島 海南金海漿紙業有限公司

2009年11月21日（土）

上海住友商事山口部長、中道課長、銭氏、住商紙パルプ由藤氏のアテンドにより工場見学を行いました。

この工場は古紙の使用はしておりませんが、家庭紙の生産をしていることもあり、我々の業務にも関わりがあることで見学を企画し、日本の古紙業者として初めての見学を快く受け入れていただきました。

この工場はインドネシアの Sinar Mas Group（シナルマスグループ 現在の本社は上海）傘下の工場として1997年に設立され、現在は家庭紙（中国国内では清風ブランドとして有名）とパルプの生産を行っております。

謹 賀 新 年

シナルマスグループ（金光集団）は、1962年に設立され、従業員は15万人総資産は200億ドル以上、中国国内に13ヶ所の製造拠点をもち企業集団として成長しています。事業の柱は、植林、パルプ生産、白板紙、家庭紙、板紙が大きな柱となっています。日本古紙マーケットの雑誌古紙の需要と価格に影響を与えているのは、このグループの寧波工場で、白板紙を1992年に年産50万トン強で開始しています。現在はこの数字よりはるかに規模が拡大しているのではないかと思います。



海南金海浆纸业は、従業員4,000人、敷地4平方kmのなかに12台の家庭紙マシンがあり、年産24万トンの清風ブランドの家庭

紙を生産しています。原料は200種類以上あるといわれるユーカリを主に使用しており、地元海南島でも、工場進出以来、さとうきび畑がユーカリ栽培に変わるくらい地元の経済に大きな影響を与えていることが感じられました。

パルプは月産で11万トン。木材、チップを原料に他社にも販売しています。

現在洋紙マシン設置の第二期工事に着手しており、完成すれば年産160万トンの印刷用紙の生産が可能となります。古紙の使用はないとのことでしたが、製品の販売先として、内需のほかに日本のマーケットをターゲットにしていることは明白と思われます。市場にとっては今後かなりの脅威になるのではないのでしょうか？APPの今後の戦略に注目していきたいと感じました。

写真撮影についてはかなりの制限があり、環境問題を意識してか、汚水処理後のクリーンな水の場所しか撮影許可が出ませんでした。かなりの情報統制をされており、少し残念に感じました。

謹 賀 新 年

2. 玖龍紙業東莞本社工場

2009年11月22日（日）

美国中南日本の張副社長、社長補佐で通訳の上ノ園氏のアテンドで工場見学を行いました。東莞工場は24時間体制、従業員5,000人。現在6台のライナーマシン2台の白板紙マシン、5台の中芯マシンの計13台で年産445万トンです。

グループ4工場（東莞・太倉・重慶・天津）で2009年は880万トンの生産になる見込みであるとのこと。2012年には1,300万トンの生産を目標にしているとのことです。



4工場での品種別売上比率はクラフトライナー49%、中芯ライナー26%、白板23%、パルプ2%の比率になっています。このほかに四川省樂山にある竹パルプ使用の工場を買収し、内モンゴルやベトナムの企業ともJVを展開しています。



このたび張会長、劉社長に、工場見学前の懇談会に出席していただき、活発な質疑応答が行われました。

会長より歓迎の言葉をいただき、日本の古紙関係業者とのより一層の関係を構築したい旨の話があり、そのなかで、2010年には東莞、太倉両工場でおフィス系や上物古紙使った印刷用紙の生産を少なくとも第3四半期か第4四半期には始めたい。



謹 賀 新 年

日本品は板紙系古紙での品質の良さで実績があるため非常に期待している感があり、日本品の使用比率をどのくらいに設定したらいいか検討している。ついてはどのくらい供給してもらえるかについて情報がほしいとのことでした。

パルプは品質と価格が安定しているが、古紙は品質が一定でなく価格も上下動があり、時期によって発生状況が変わるという意味で不安定ではあるが、古紙を使った洋紙生産という新たな可能性にチャレンジしていきたい。ぜひとも協力してほしいとのことでした。

赤染直納部長より、日本は業界と官庁をあげてJブランドを整備していることで品質は他国に負けないものであることと、組合員の結束が固く、供給については協力していきたいとの説明を行いました。



また、白板マシンを3台増設することを計画しており、雑誌の購入を増やしていくとの話もありました。

質疑応答の後、会長、社長、張副社長を囲んで正面玄関前で記念撮影を行い、その後4号、11号の白板マシンを見学しました。それぞれ年産45万と50万トンの計90万トンの白板紙を生産しており、そのほとんどを国内向けに出荷しています。そしてできた紙製品は世界の一流企業で使用されています。

その後古紙置場を見学しました。東莞工場はパルプ10%、古紙使用90%とのことでした。この工場の古紙使用量は古紙歩留まり80%として年480万トン、1ヶ月約40万トンの古紙を使用していることになる。在庫は約1か月分で、1日に1万トンの古紙が消費されています。

OCCの購入比率は米国品30%欧州品20%日本品20%国内調達30%です。

玖龍紙業の4つの特徴。

1. 生産規模が大きく、効率がよい。
2. 4ヶ所の工場で中国全土をバランスよくカバーしている。

謹 賀 新 年

3. 美国中南からの古紙の安定供給。

4. 玖龍ブランド

見学後の夜は、張副社長を囲んで楽しい食事会となりました。

玖龍紙業が古紙を使って印刷用紙を生産するという事は、現在月に7万トンの印刷用紙が日本に輸入されていて、日本の印刷用紙のマーケットを脅かす存在になりつつあるなか、日本で生産規模が縮小されて7万トンプラス余剰分として発生した色上や上質紙が中国へ輸出されるという循環が今後増えてくれば、我々の商売として中国への目線は板紙系古紙の輸出先としてだけでなく、印刷用紙系の上物古紙消費の最大のマーケットとして捉えなければならないことが確実にようになってくるのは、そう遠くない時期に来ると感じました。

まとめとして、リーマンショック以降先進国がなかなか立ち直るのができないなか、



中国の潜在需要と商魂のたくましさを感じ、今後は定期的に中国市場をウオッチして、日本の新たなパートナーとして提携していきたいと思います。

みなさんお疲れ様でした。

関東商組との 合同ゴルフ会を開催

青年部（足立支部） 近藤 英彰

2月6日（日）、関東商組と東京協組の合同コンペが行われました。コースは、千葉県成田市の「太平洋クラブ 成田」です。

私は、組合の方々とゴルフコンパに参加した経験がないので、普段お会いしない方々とプレーをすることに大変緊張し、ボールにクラブが当たるのか、同じ組の方々に迷惑をかけないかを参加表明時点から考え、前日は夜も眠れませんでした。

当日は早朝にも関わらず、遅刻する方もなく、集合できました。河川敷でプレーをすることが多い私は、立派なクラブハウスに大変驚きました。

当初の予報では、暖冬ということでしたが、それでも朝はかなり冷え込んでおり、コースには霧がかかっていました。そんな中、全員で記念写真を撮り、

謹 賀 新 年

キャディーさんに挨拶をし、プレーがスタート。

私の組は、赤松さん、増田さん、高橋さんでした。最初のホールは、クジの結果4番目だったので、皆さんの安定したショットを見ていると、緊張は最高点に達し、いざ私の番。飛ばなくても真っ直ぐ飛ぶように当てにいったためか、綺麗に空振り。普段空ぶりはしないのですが、嫌な予感が見事に的中してしまいました。その後は、みなさんのアドバイスにも助けられ、少しずつ当たるようになっていきました。

それにしてもこのコースは難しく、初心者の私はかなり苦戦しました。もちろんフェアウェイが傾いているところが多いというのもその理由の一つでしょうが、一番はグリーンだと思いました。とにかく早く、学習能力のない私は、3パットが当たり前、1パットは一つもなかったと記憶しています。

6番ホールでは、3メートルはあると思われるバンカー。ここにだけは落とさないように、手前に一度刻み、もう一打で確実に越えようと試みたのですが、一度越えたボールはバンカー奥のへりに乗り、超えたと思いきやコロコロ落ちてしまい、結局出すのに4打も打ってしまう始末。

結局私は60-60の120で終了。

表彰式の前に、INスタートの組が遅れて終了

したため、OUTスタートのメンバーが一時間ほど部屋で待機というトラブル、結果発表後に一組のスコアが含まれていないことに気づき再表彰、といった予想外の結末とはなりましたが、最後まで笑顔の絶えない楽しいコンペだったと思います。

去年は、リーマンショック以降の景気の落ち込みに伴い、古紙業界も価格の下落や発生の減少といった大きな影響を受けた形となりましたが、これからも業界全体で協力しあっていく必要があるということを再認識いたしました。来年もぜひ参加させていただきたく思います。

*成績は以下のとおりです。

優勝 (株) 増田商店 増田 唯之

準優勝 (株) 小池商店 小池茂男

ベストグロ 増田 唯之

団体優勝 関東商組



謹 賀 新 年

清風会 研修会と忘年会を開催

広報部副部長 脇 克美

去る12月3日、上野「東天紅」に於いて清風会の講演会と懇親会(忘年会)が開催されました。講演会は当組合の顧問をお願いしている松原 仁 民主党代議士に5時から1時間程お話し頂く予定でしたが、急に先生の都合が悪くなり、懇親会を少し早めて開始することとなりました。青年部幹事長でもある廣田理事の司会で皆川会長の挨拶で始まり、近藤理事長の挨拶の後、樫原相談役による乾杯のご発声で宴の開始です。



料理も2品目が出てきた頃、松原先生がご来場になられ赤染理事による簡単なプロフィールの紹介の後、講演会がはじまりました。

国会裏話のイロイロ、民主党の主張やそのやり方の説明等、素人の私にも分かり易く話して頂きました。特に、先の総選挙による政権交代は明治維新以来、はじめての無血の革命であり、新たな日本国を築いていくとおっしゃったのには感銘を受けました。アルコールが入っていたのでザワツかないか心配もありましたが、先生の話のうまさのせいで皆さん聞き入っているようにお見受けしました。しばらく先生にも酒席をご一緒して頂きましたが、退席される時には、皆で万歳三唱をしてお見送りをしました。



いつもながら宴席では大いに盛り上がる我々ですが、今回は皆川会長もおっしゃっていらした通り、我々の業界は(日本中が)1年を通じて真冬の様な景気でした。それを乗り越えて来年も頑張るぞという気持の現れであったような気がしました。中締めは大久保理事の挨拶と3本締めでお開きとなりました。

謹 賀 新 年

直納部忘年会を開催

去る12月17日(木)、上野にある伊豆栄梅川亭にて直納部の忘年会が開催された。

年末の忙しい中であったが直納部員37名が参加。来賓には檜原相談役をはじめ、集荷部を代表して松井副理事長、宮崎集荷部長にご参加をいただいた。

また業者として中国視察の段取りをしてくれた、住商紙パルプ(株)製紙原料本部由藤課長、美国中南日本(株)米山マネジャー、近畿日本ツーリスト(株)木村さんにご参加いただいた。

宴会に先立ち赤染直納部長より市況報告および中国視察についての報告があった後、近藤理事長の挨拶、松井副理事長の乾杯で宴会にはいった。



今年は年の初めから大変厳しい市況ではあったが、やっと無事に1年を乗り切った安堵感か、美味しい料理を味わい酒が入るにつれ、梅川亭の大広間をぶち抜きにした広い会場で、参加者一同いつも以上に和気あいあいとした楽しい雰囲気のもと1年の終わりに相応しい有意義な交流が行われた。

最後に清水副理事長の締め挨拶があり、来年に向けた決意を胸に散会。

支 部 便 り

城南支部 創立50周年記念祝賀会

城南支部 平松 邦明

11月28日土曜日、新橋にある中国料理店の新橋亭で城南支部の創立50周年記念祝賀会が開催されました。

当日は土曜日にも関わらず支部員18名、近藤理事長をはじめ組合常任理事の方々、大同生命上野支店の方々と多くの来賓の皆様のご出席を頂きました。

支部員でもある赤染直納部長が司会進行役を務

謹 賀 新 年

め、まず初めに坂田支部長が開会の挨拶をされました。

来賓を代表して、近藤理事長と大同生命上野支店の吉川課長のお二人にご祝辞を頂きました。

次に表彰式が行われ、永年広報活動に尽力をいただいた梶野泰一氏に近藤理事長より組合本部からの表彰状が贈られ、また支部表彰には坂田秀一郎氏、後藤雅太郎氏、舟戸保氏の3氏が選ばれ坂田支部長より表彰状が授与されました。

受賞者を代表して坂田前副理事長が御礼の挨拶をされました。

受賞者の皆様には長年に渡り組合活動にご尽力頂き本当にご苦労様でございました。

引続き清水副理事長の乾杯で会食が始まり各テーブルでは、思い出話や今後の古紙業界の事など話題が尽きることなく、あっという間に時間が過ぎてしまいました。



閉会は、井出社長の音頭で支部恒例の手締めではなく万歳三唱で締め、出席者全員で記念撮影をして大盛況の中お開きとなりました。

最後に私事ですが、私はこの業界で仕事をするようになって12年になります。この歴史のある城南支部を私よりも若い世代に継がれるように微力ではありますが少しでもお役にたてるように出来ればと思っております。

そして60周年、70周年と続くことを祈念申し上げて城南支部創立50周年記念祝賀会の報告とさせていただきます。

乱筆ですがお祝いという事でご容赦下さい。

台東支部 忘年会開催

台東支部 評議委員長 **近藤 誠造**

台東支部では、12月14日(月)午後6時より上野東天紅・海燕亭で12名参加で忘年会を開催致しました。

高山支部長の挨拶で始まり、野村商店野村顧問に乾杯をして頂きました。おいしい和食に舌づつみ、2時間があっという間に過ぎました。

謹 賀 新 年

その後自宅に帰る人有り、二次会に行く方など、楽しい忘年会になりました。



荒川支部 忘年会開催

荒川支部 久保田 貞行

平成21年12月10日、荒川支部、十日会合同忘年会を東日暮里4丁目町会会館に於きまして開催致しました。当日は、25名の出席を頂きました。

十日会とは、毎月10日に開催する無尽の会で、会員の殆んどが支部員の方々に構成されている会です。

当日は年末、年始行事予定（夜警、新年会）の報告後、会食が始まり、皆様ゆったりとした雰囲気、懇談されていました。

足立支部 忘年会開催

足立支部長 赤松 源裕

昨年12月26日（土）に足立支部の忘年会を北千住の「明日香」という日本料理店で開きました。当日は組合本部の清水・松井両副理事長のお二人に出席して頂きまして（理事長近藤勝氏は足立支部員として参加）大変有難うございました。

おかげさまで総勢12名となり、久しぶりに大人数で賑やかに開催する事ができました。

足立支部の会合では、他の支部、役員さんが参加するのが初めてで、前例がなかったので考えもしませんでした。しかし参加して頂いて、他の支部の方との会合も話題も豊富になって良い事だと思います。

清水副理事長、松井副理事長とも北千住が初めてという事でしたが、下町の雰囲気をも十分に堪能された？事でしょう。

忘年会当日の写真を載せたかったのですが、お酒を飲むのに忙しく、すっかり撮るのを忘れてしまいました。

ホントにすみません（大失敗）。

追伸

今回和服のコンパニオンを二名呼びまして、大

謹 賀 新 年

変盛り上がりました。しかし赤ワインがこぼれ、着物にかかってしまい申し訳なかったですが、その後どうなったのか、ちょっと心配ではありました。

山手支部の忘年会を開催

山手支部 庶務 徳永 裕司

去る12月19日(土)江戸川橋の「鮭やなぎ」において支部の忘年会を開催しました。当日は支部員13名にゲストとして近藤理事長をはじめ、清水、松井副理事長、山田文京支部長、大柴理事、夏目専務理事と沢山のお客様の参加を頂き、脇支部長、近藤理事長の挨拶の後、長井理事の乾杯のご発声で宴がはじまりました。



お客様も支部員とは皆さん顔見知りですし、リバ~アップの面々も加わり座は一気に盛り上がりました。今年は日本中の景気が悪く、わが業界もひどい有様でしたが、この日ばかりはそれを忘れて来年が明るい年となるよう飲みかつ語り合いました。楽しい時間はあっという間に過ぎるもので、宮崎理事の三本締めでお開きになりました。当日集合写真を撮って下さった大柴さんいつも有難うございます。

城北支部 忘年会開催

城北支部長 黒田 義孝

12月11日(金)池袋ロサ会館4階 魚や(TOTOYA)にて忘年会を開催致しました。

支部員16名 お客様に近藤勝理事長様、清水弘允副理事長様。



謹 賀 新 年

雨が降り又寒い処参加して頂き 18 名、竹内義人氏の司会で始まり近藤勝理事長、清水弘允副理事長に挨拶を頂き、乾杯を前理事長の皆川昇様にお願いしてふぐ料理に舌つつみしながらおおいに盛り上がり、支部員同士の交流を深めました。

中締めは当支部理事伊藤滋氏より頂きお開きになりました。

文京支部 忘年会開催

文京支部 清水 弘允

12月8日(火)小石川の割烹岡塾荘にて文京支部の忘年会を開催しました。文京支部は支部会を毎月8日に開催しておりまして忘年会も例外ではありません。

支部員14名の出席に加えて、ご来賓として近藤理事長、高山総務部長、宮崎集荷部長、脇山手支部長、黒田城北支部長、城南支部の坂田秀一郎さん、城北支部の乗附孝之さん、本部の夏目専務理事、それに取引先から大同生命の吉川課長、斎藤さん、小川さん、ウィル・プロモート近藤社長と多数のご参加をいただき総勢26名の参加となりました。



ゆったりした大広間でコンパニオンにも華を添えてもらい、文字通りこの一年間の憂さを忘れる忘年会となりました。これも恒例ですがビンゴ・ゲームが始まり、次第に盛り上がりリーチの声が上がっている中、ビンゴになったのが近藤理事長と人見副支部長でした。

中締めを人見副支部長がつとめ、盛況のなか散会となりました。

忘年会の幹事は持ち回りですが、今年の幹事は三弘紙業(株)森山さんと、私、清水でした。

江墨支部 忘年会

江墨支部長 松井 隆宏

12月12日(月)に江墨支部の忘年会を吉野すしで行いました。今回は初めて二世の参加を計画したところ7名の参加がありました。総勢19名にコンパニオン6名が加わり賑やかな開催となりました。

組合員の広場

歌舞伎人気俳優の生涯

(明治 大正 昭和 平成)

城南支部 坂田 秀一郎

川柳に「日に三箱散る山吹は江戸の華」と云うのがある。山吹とは勿論、花が黄色いので小判のことであることは云う迄もない。これは江戸時代に盛況を極めた。①「吉原の花街」、②「魚河岸」そして③「芝居見物」と云うことになる。一日に3000両の大金がおのおの流通したと云う事であろう。明治期の歌舞伎を二分する人気役者、五代目尾上菊五郎丈や九代目市川團十郎丈ともなれば月額300両の報酬を受取っている。現在の報酬に換算すると約1800万円に相当する。当時としては驚く程の高額で、それ丈人気の程が覗える。



ところで東京・東銀座の歌舞伎座（S26年築）も老朽化し、解体が決定。今年からカウントダウンが始まり、現在は切符の入手がなかなか難しいと云う皮肉な現象が起っている。そこで歌舞伎座の三階西口ロビーに沢山の往年活躍した人気俳優・写真掲載者すべて計67人に就いて、生涯年齢を調べてみた。

江戸時代文政13年3月生れ（1830年）の中村芝翫丈四代目から。明治 大正 昭和 平成の今日迄約180年間、偉大なる功績を残した俳優、人間国宝に指定された人、文化勲章に輝いた人等に就いてである。他界した67人中91才の方が二人おり、一番長寿である。80才台の俳優は67人中11人。70才台の俳優さんが20人。この中で人気俳優で早世した方は33才と41才の2名となっている。67人全員の年齢合計は4576才で平均寿命は68才と2ヶ月の結果が分った。大変なお仕事振りが覗える。

歌舞伎を愛し、歌舞伎座に貢献した偉大なる人気役者の御冥福をお祈りすると共に、この方々やその他の人々の思いを忘れず、新しい歌舞伎座を建築して戴きたいと思ひます。以上甚だ僭越失礼かとは思ひますが御参考にして頂ければ幸いである。

♪ことわざミニ知識♪

「犬も歩けば棒にあたる」

物事を行う者は、時に禍にあう。また、やってみると思わぬ幸いにあうことのたとえ。

（前者が本来の意味と思われるが、後の解釈が広く行われる。・・・広辞苑

「犬に棒」とくれば禍に遭うと考えるのが自然です。ですから幸運に巡り合うと言う意味で使っている人を見ると、どうも違和感を感じてしまいます。

支部スケジュール

千代田支部

支部会	2月 5日（金）	菜の家
支部会	3月 5日（金）	菜の家
支部会	4月 6日（火）	菜の家
評議会	4月 6日（火）	庄 司
総 会	4月 6日（火）	菜の家

中央支部

支部会	2月19日（金）	場所未定
支部会	3月19日（金）	場所未定

文京支部

支部会	2月 8日（月）	すし常
支部会	3月 8日（月）	場所未定
支部会	4月 8日（木）	場所未定

台東支部

支部会	3月	組合会議室にて開催予定
-----	----	-------------

荒川支部

役員会	3月	開催予定
-----	----	------

足立支部

支部会	2月20日（土）	北千住
ゴルフ旅行会	3月28日（日）～29（月）	場所未定

山手支部

支部会	2月19日（金）	鮎やなぎ
支部会	3月19日（金）	鮎やなぎ
総 会	4月19日（月）	鮎やなぎ

城南支部

新年会旅行 2月6日(土)～7日(日)
「伊豆 大仁ホテル」

江墨支部

支部会 2月18日(木) 吉野すし
支部会 3月19日(金) 吉野すし

城北支部

支部会 2月12日(金) 場所未定
支部会 3月12日(金) 場所未定

◎静岡県紙業協会家庭紙会との懇談会

期日:平成22年2月22日(月)

場所:富士工業技術支援センター

時間:午後2時より

◎古紙商品化適格事業所の更新

平成22年3月31日までに更新に必要な資格を取得してください。

- A. ISO14001、9001 認証登録証
- B. エコアクション21 認証登録証
- C. 廃棄物再生事業者登録

以上をお持ちでない方は古紙商品化適格事業所申請書の裏面にある②～⑦の資格を取得する必要があります。

期日が迫ってまいりましたので早めに資格取得をされるようお願いいたします。

尚、すでに資格取得された方は、組合事務局に資格書のコピーをお送りください。

お 知 ら せ

[2月会議・催事予定]

- 2月3日(水) 常任理事会 (pm2:30～)
理事会(pm4:00～)組合会議室
- 2月10日(水) 直納・集直委員会
直納部委員会 (pm3:30)
集直委員会 (pm4:30)
組合会議室
- 2月20日(土) 集荷部委員会・新年会 (pm6:00)
湯島「江知勝」
- 2月22日(月) 静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会事前会議 (pm1:15～)
本会議 (pm2:00～)
- 2月24日(水) 古紙センター業務委員会 (pm1:30～) センター会議室
" 全原連役員会 (pm2:40～)
センター会議室

[古紙価格]

[東資協の古紙4品の標準売値]

平成21年12月8日現在

新聞	7円(横ばい)
雑誌	4円(横ばい)
段ボール	6円(横ばい)
色上(並)	4円(横ばい)

[古紙品質調査事業]

平成21年10月～12月

「新聞 古紙」	14,000円/トン
「段ボール 古紙」	16,000円/トン

[訃報]

江墨支部:(有)高山商店 代表者 高山武男 様(享年72)が平成21年10月20日にご逝去されました。

荒川支部：(株)漆原商店 代表者 漆原朗 様
 のご尊父 漆原秀雄様 (享年 80) が平成 21 年
 10 月 22 日にご逝去されました。

荒川支部：(株)大久保 代表者 大久保信隆 様
 のご母堂 大久保未嘉様 (享年 90) が平成 21
 年 11 月 16 日にご逝去されました。

会議概要 [11月・12月]

11 月度定例理事会

[平成 21 年 11 月 4 日 (水)] pm4:00

出席理事 25 名 於) 上野精養軒「銀杏の間」

近藤理事長挨拶

本日は理事会の終了後に東京都環境局廃棄物対策部から講師を招き、廃棄物再生事業者登録の説明会を予定しております。出席者は 49 社 52 名の予定です。先月に静岡県紙業協会家庭紙部会において家庭紙メーカーから 24 名、静岡県製紙原料商業組合から 9 名、当組合から 14 名が参加しました。詳細については後ほど会議の中で説明があります。現在、組合総合名簿を作成中であり、協賛広告の依頼を各理事において分担して行っております。大変お忙しい中、引き続きよろしくお願ひ致します。来年の組合合同新年会から関連業界の団体等から来賓者を招待したいので、何卒ご了承いただきたい。

[各部報告]

[総務部] 会館テナント 3 階小柳工業 (株) が賃貸借契約更新 10 月 31 日付け 現状家賃で更新した。

組合会館 2 階テナントが決まった。会社名はタニモトで職種は宝石の加工、デザイン。入居は 12 月頃を予定。

組合会館 1 階のエントランスの壁の腐食が激しく補修工事をしたい。工事見積りは約 21 万円で承認を願いたい (可決)

[直納部]

11 月の共販輸出は入札参加が 2 社で (株) ジェーオーピーが落札した。約 1 年ぶりの落札で価格は国内価格を上回っての落札であった。海外メーカー工場視察研修 (11 月 20 日～ 23 日) は、参加者 18 名での実施となった。11 月 16 日に参加者を対象とした説明会を行う。静岡県紙業協会家庭紙部会では、産業古紙の発生が 30% ほど落ちている事を説明した。家庭紙メーカーの古紙原料は、バラツキはあるが順調に入ってきているとの事。洋紙メーカーの使用が少なく価格面での改善が難しい状況であるとの事であった。

[品目別市況]

[家庭紙] 家庭紙は、発生が少ない中で、メーカーの在庫が落ちてこない現状である。

[段ボール] 段ボールは発生が相変わらず少ない。輸出で多少の価格上昇面が出てきた。国内メーカーの減産。

[新聞・雑誌] 新聞は発行部数が減っており、チラシの減少の影響が大きい。発生も少なく前月と変わらない状況である。

雑誌も同様で出版関係が減少しており発生も減少してメーカーの注文も少ない。

[オフィス] 発生が落ちている。

[返本] 発生が落ちている。

[集荷部]

発生が 20～30% 減少している。先日、静岡県紙業協会家庭紙部会の会議に参加し、発生が少ない現状を説明し、価格面の話をしたが方向性は今と変わらないようである。

[広報部]

広報誌は11月号の原稿をまとめている最中で、11月下旬に発送予定である。今回は時の視点を、全原連の経営革新委員長の瀧本さんに原稿依頼してある。組合総合名簿を作成中で全体的にスリム化の方向で進めている。

[事業部]

理事会前にオフィスコンサルティングより東京都中小企業両立支援推進助成金についての説明を受けた。

来年の合同新年会で各関係団体から来賓者を招待したい。具体的な来賓者については次回の理事会で協議し決めたい。

[青年部]

10月21日に製本工組2世との交流会を実施した。その中で製紙会社の見学をしたいとの要望があった。

[近代化推進事業委員会]

経営革新委員会：平成22年3月末の古紙商品適格事業所の更新に関連して、理事会終了後に会場で廃棄物再生事業者登録の講習会を実施す参加者は52名で午後6時～7時半頃までを予定。11月11日に渉外広報と合同委員会を九州の福岡で開催する。

IT委員会：11月11日に九州の福岡で委員会を行う予定。

古紙センター関東地区委員会

[平成21年11月24日(火)] am10:30～
於)古紙センター会議室

[需要動向] 09/10月 単位トン、()は
対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	73,241 (90.1%)
	出荷	76,638 (93.2%)
	在庫	11,974 (15.6%)
[雑誌]	仕入	55,759 (86.4%)
	出荷	57,899 (90.1%)
	在庫	10,702 (18.5%)
[段ボール]	仕入	131,616 (93.7%)
	出荷	134,645 (97.4%)
	在庫	22,546 (16.7%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	245,535 (93.5%)
	消費	246,538 (100.1%)
	在庫	173,153 (70.2%)
[雑誌]	入荷	127,176 (90.6%)
	消費	129,104 (98.2%)
	在庫	54,935 (42.6%)
[段ボール]	入荷	289,173 (84.3%)
	消費	303,429 (92.1%)
	在庫	105,341 (34.7%)

[業者側コメント]**[新聞・雑誌]**

新聞はページ数は前年と同じになってきた。チラシは前年比85%、前月比83%と減っている。

減少が少し収まってきており重量も少し増えた。チラシは相変わらず落ちている。新聞とチラシの合計では若干、プラスとなっている。

雑誌の売れ行きが良くない。付録を付けた雑誌は売れている。雑誌の実販売数が落ちている。

[段ボール]

在庫は少しずつ減少している。輸出は、1月～9月は昨年対比174.6%と伸びている。

【メーカー側コメント】

新聞は減産基調に合わせて使用している。在庫は横ばいである。12月も同じような状況が続くのではないかと。

段ボールの10月の生産は前年対比91%～92%で11月は前年対比100%を下回ることはないと思われる。

古紙センター業務委員会

[平成21年11月25日(水)] pm2:30～

古紙センター会議室

[1] 平成21年度評議委員会、同第1臨時理事会の報告

①事の一部選任に関する件(評議委員会第1号議案)
秋津芳孝氏((株)商工組合中央金庫)から一富肇資氏(同執行役員審査第一部長)へ変更

②事務局規定の一部改定と事務局長の任命(理會第1号議案、評議委員会第2号議案)

③定款の変更原案(現行寄付行為の変更案)(理會第2号議案、評議委員会第3号議案)

④最初(公益財団法人移行後)の評議員候補者推薦(理事会第3号議案、評議委員会第4号議案)

⑤最初(公益財団法人移行後)の理事、監事候補者の推薦(評議委員会第5号議案)

⑥最初(公益財団法人移行後)の代表理事・業執行理事の選任(理事会第4号議案)

[2] 平成21年度上期の関東・中部地区古紙品調査事業の調査結果について

[3] 集団回収実施団体への感謝状交付について(東北・関東地区委員会推薦)

[4] 平成22年度1月～6月の段ボール、新聞雑誌の消費計画について

[5] 古紙の需要・市況動向について

ページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連 平成21年度 第6回役員会

[平成21年11月25日(水)] pm3:30～

於)古紙センター会議室

理事・監事60名:出席60名(内、委任出席35名)

欠席0名

(1) 古紙再生促進センター 関係

●業務委員会(11月25日開催)

◎平成21年度第2回評議委員会、第1回臨時理事会の報告について

①理事の一部選任に関する件

・秋津芳孝氏((株)商工組合中央金庫)から一富肇資氏へ変更

②事務局規定の一部改定と事務局長の任命

・事務局長:白井俊市事務部長が兼任(平成21年12月1日付)

③定款の変更原案(現行寄附行為の変更案)

④最初(公益財団法人移行後)の評議員候補者の推薦

・評議員:製紙業界3名、古紙業界3名、一般業界5名計11名

⑤最初(公益財団法人移行後)の理事・監事の選任

・理事:製紙業界10名、古紙業界10名、一般業界8名、古紙センター2名計30名

・監事:製紙業界1名、古紙業界1名計2名

⑥最初(公益財団法人移行後)の代表理事・業執行理事の選任

・代表理事:石田隆

・業執行理事:高嶋良昭、馬城文雄、栗原正雄、深田和利、鈴木節夫、中村好伸

◎平成22年1月～6月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

・2010年1～3月計画

・2010年4～6月計画

段ボール:	1,591,451t (前年比 105.3%)
	1,767,044t (前年比 100.7%)
新聞:	1,017,350t (前年比 104.1%)
	1,033,665t (前年比 100.4%)
雑誌:	551,267t (前年比 109.2%)
	574,954t (前年比 97.7%)

◎平成21年度上期の関東・中部地区古紙品質調査事業の調査結果について

- ・段ボール、新聞の外観調査及び開梱調査（品質事業は関東3年、中部1年）

◎集団回収実施団体への感謝状交付について

- ・推薦地区委員会：東北地区（5団体）、関東地区（4団体）

◎今後の主なイベント予定

- ・古紙回収推進事業・エコプロダクツ2009 出展について

日時：12月10日（木）12月12日（土）

場所：東京ビックサイト・東展示場

シンポジウム開催：12月10日（木）

14:00～16:30

◎今後の日程

平成22年1月8日（金）13:30～

新年互礼会（ホテルグランドパレス）

平成22年1月21日（木）11:00～14:30

評議員会・理事会（センター会議室）

平成22年1月21日（木）14:00～15:00

業務委員会（センター会議室）

(2) 業界 関係

◎経済産業省紙業課関係（報告事項）

- ・国内古紙需給安定システム（特別委員会）調査の実施について政権交代による予算化を今回見

送る。その代わりに、現在の古紙利用率目標62%は2010年度で終了。

2011年度以降の古紙利用率目標設定作業時に国内古紙需給安定システム調査関係を行う予定。

(3) 全原連 関係

◎総務財務委員会（11月19日開催）

- ・4月～10月度組合経理財務内容は予算通り順調に推移

◎審議事項（役員会上程、承認事項）

①「古紙商品化適格事業所」・「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定について

- ・古紙商品化適格事業所：11月15日（1社、1事業所）累計（402社803事業所）

- ・リサイクルアドバイザー：11月15日（5社、8名）累計（430社、1,950名）

②補正予算（案）承認の件

- ・特別委員会1,661,000円、エコプロダクツ600,000円 計2,261,000円

③平成22年5月役員改選に伴う選挙に関する件

- ・現行：理事58名、監事2名
役員枠：理事62名、監事2名
- ・4名候補者枠（新潟1名、山梨1名、鳥取1名、島根1名）

- ・選考委員選任は各地区組合及び傘下団体の代表者とする

- ・選考委員長は矢倉義弘氏（全原連理事長が選任）に決定

④古紙商品化適格事業所第1回認定更新料（案）に関する件

- ・認定更新料は1事業所当たり7,000円
- ・更新証書の交付及び更新表示シールの交付を検討

(4) 各委員会報告

- 経営革新委員会（11月11日開催）
 - ・「日本古紙品質認定（J-BRAND）制度」運用規則（案）及び運営細則（案）
 - ・第1回「古紙商品化適格事業所」更新（案）検討
 - ・古紙商品化適格事業所活用のための広報について
 - ・ベーパー作業の安全対策について
- 需給委員会（11月13日開催）
 - ・海外視察調査：ドイツ（デュッセルドルフ）
 - ・第13回世界古紙会議（4月28日～29日）
- IT推進委員会（11月11日開催）
 - ・九州商組組合員へ「全原連製紙原料システム」拡販デモ（東芝情報機器）
- 渉外広報委員会（11月11日開催）
 - ・優良性評価2事業の広報宣伝について経営革新委員会合同会議
 - ・2009年エコプロダクツに出展のパネル作成。

12 月度定例理事会

[平成21年12月3日（木）] pm3:30
出席理事31名（於）上野東天紅「萩の間」

清水副理事長挨拶

本日は近藤理事長が古紙センターにおいて第1回古紙品質規格専門委員会に出席のため理事会に遅れて参加します。

今年最後の理事会となりますが本日もよろしくお願ひ致します。

[各部報告]

[総務部] 組合会館2階テナント（会社名はタニモト）が12月中旬に入居予定である。

12月15日に東り協が開催するフォーラムに出席をして欲しい。

[直納部]

本日12月の共販輸出検討委員会を行った。入札参加が2社で（株）松本光春商店が落札した。落札価格は国内価格を上回っての落札であった。海外メーカー工場視察研修（11月20日～23日）に参加者18名で行ってきた。海南島のAPP工場見学の手配は住商紙パルプ（株）が行ってくれた。美国中南日本（株）では大歓迎を受けた。国内の市況は前月と変化していない。板紙メーカー、一部、大手洋紙メーカーが注水量を減少しており、原料は順調に入っている。輸出は500万トンに近づいており今年1年で輸出比率が高くなる模様。

[品目別市況]

[家庭紙] 家庭紙は11月も低調な推移。発生は15%～20%の減少でオフィス系も同様である。家庭紙メーカーは原料について今月は心配していないが年明けに不安を持っている。発生が少ないので原料側は定期的な納入には問題ないが追加に関しては納入が厳しい状況である。

[段ボール] 段ボールの輸出価格は先月なみ。中国の製品価格が下がってきている。このまま円高がつづく輸出価格がさがるのではないかと。今後、発生が減るのは目にみえている。

[新聞・雑誌] 80%の生産量と厳しい生産状況である。減産の中で需要も少なく新聞、雑誌とも扱ひ量が少ない。10月は発生状況も厳しく11月も同じように推移している。

[オフィス] 発生が少なく12月25日を過ぎないと出てこないのではないかと。

[返本] 昨年対比10%減で推移している。本が売れず付録が付いてないと売れない状況。

[集荷部]

発生は9月が一番悪かった。10月・11月は少

し持ち直したが12月に入り又、悪くなってきた。特に印刷、製本関係が悪く10%ほど落ちている。

[広報部]

広報誌11月号は、11月末に発送して届いたと思いますが、現在は1月新年号の作成中です。掲載記事は、正副理事長の新年の挨拶、海外メーカー工場視察研修会報告、清風会忘年会、直納部忘年会、城南支部50周年、各支部の忘年会等を予定しております。原稿の締め切りは12月22日となります。

現在、組合総合名簿を作成中で変更点が多く、お届けは12月末頃の予定となります。

[事業部]

合同新年会の準備中です。プログラムはカラオケが中心となります。12月20日までに各支部の出席をまとめて事務局へ提出してほしい。

[青年部]

12月6日の第2回関東商組との親睦ゴルフ大会の準備中。12月8日に青年部の忘年会を開催予定。

[近代化推進事業委員会]

受給委員会:4月28・29日にドイツの世界古紙会議に参加予定。



編集後記

広報部副部長 **高橋 宏明**

組合員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年を振り返ってみると、一昨年に発生した世界同時不況により日本経済にも「景気の悪化」などがあり、国内製紙メーカーも「減産」そして「発注減」また「価格修正」があり、また輸出価格の「暴落」などといった年の始まりでいつ底がくるのか見えてこない不安でどうなっていくんだろうという思い気持ちでの始まりでした。

でも、夏の終わりから秋にかけて中国経済が少しずつ回復基調が見え、輸出価格にも少しずつ「値もどり」といった明るい光が見えてきたと思います。

また、広報部としては「広報誌」をタテ書きからA4版のヨコ書きに変更をした年でした。こうして見るとあっという間に一年が経ってしまい、年々一年間が驚くほど早く終わる(年を取ったのかな?)感じがします。

今年も執行部及び広報部一同頑張りますので、組合員の皆様宜しくお願い致します。

.....

組合では、広く業界関係各社から広報誌の広告掲載を募集しております。

広告スペース、場所、料金等の詳細につきましては組合事務局までお問い合わせください。

東京都製紙原料協同組合

電話 03—3831—7980

FAX 03—3831—7880